

社会貢献活動・地域連携活動等

(平成28年5月1日現在)



■ 1、海外の協定相手校

	校数
協定相手校	2

■ 2、社会貢献活動

	活動数
社会貢献活動	34

■ 3、大学間連携

	連携数
大学間連携	1

■ 4、産官学連携

	連携数
産官学連携	15

1. 海外の協定相手校

国名	大学名	概要
カナダ	マキユワン大学	特別英語教育プログラム「MEEP」の一環として、これらの協定校を研修先に海外研修の実施を計画中です。
カナダ	サスカチュワン大学	

2. 社会貢献活動

市民公開講座		概要
6月21日	第1回 臨床検査の進歩	府立急性期・総合医療センターとの連携事業。共催：住之江区 共通テーマ「予防・治療から社会復帰へのケア～最近の進歩～」を切り口に、同センターの医師1名と本学の各学科教員3名が一般の方に関心の高い疾病についてわかりやすく講義します。
9月13日	第2回 胃がん	
11月1日	第3回 関節リウマチ	
駅前健康講座		概要
3月23日	第1回 花粉症	身近な病気や健康に関する情報発信の場として平成27年度から新たに始めました。看護学科教員による血圧・脈拍の測定、健康相談も同時に実施しています。
森ノ宮カップ		概要
7月	U-14 大会	森ノ宮医療大学主催、「セレッソ大阪スポーツクラブ」協力の「森ノ宮カップ」は、サッカーを通じて子どもたちの健全な成長を応援するとともに、スポーツにおけるコンディショニングの大切さを伝えることをも目的として、舞洲運動広場で開催しています。
11月	U-10 大会	
2月	U-12 大会	

主催、共催、協賛したイベント		概要
5月24日	テレビ大阪・春の南港ファミリーマラソン	主催：テレビ大阪、開催場所：大阪南港 理学療法学科の教員や学生らが「ランナーに対するストレッチや競技後のアフターケア」を担当しました。
9月23日	テレビ大阪・秋の大阪城ファミリーマラソン	主催：テレビ大阪、開催場所：大阪城公園 看護学科の教員と学生が救護班として大会運営に協力したほか、理学療法学科の教員と学生が森ノ宮医療学園専門学校と協力し、「ランナーに対するストレッチや競技後のアフターケア」を担当しました。
9月26日	OSAKA ハッピーランフェスタ	主催：読売新聞大阪本社、開催場所：舞洲スポーツアイランド 鍼灸学科が「美容・美脚鍼灸、美脚カッサコーナー」、理学療法学科が「ウォーミングアップ&クールダウンコーナー」を出展しました。
10月31日 11月1日 3日	咲洲子どもフェスタ(3日間)	主催：咲洲子どもフェスタ実行委員会 「心肺蘇生&AED体験コーナー」を出展し、協賛の「ジュニアフットサル大会」でのテーピング指導や鍼灸体験、大阪府咲洲庁舎の階段を使った「垂直マラソン」の運営への協力も行いました。
12月 ～ 2月	ATC Student's Art Collection	主催：ATC(太平洋トレードセンター)、開催場所：ATC 理学療法学科1年生たちのイルミネーション用アート作品が、12月から2月にかけて「ウミエール広場」に展示されました。
1月17日	ふれあい病院探検隊	主催：府立急性期・総合医療センター 看護学科が「手洗い体験」「ナースクイズ」「AED体験」、理学療法学科が「姿勢改善のコツ」、鍼灸学科が「東洋医学の問診による健康チェック」「はり・きゅう体験」を行ないました。
2月11日	住之江区民マラソン大会	主催：住之江区体育厚生協会、大阪市コミュニティ協会住之江区支部協議会、住之江区役所 開催場所：南港地区 大阪府鍼灸師会の協力を得て、鍼灸学科の教員や学生が「はり・きゅう無料体験」ブースを出展しました。

主催、共催、協賛したイベント		概 要
3月21日 25日	Spring Fes 高校サッカー交流戦 U-17(5日間)	「トレーナーブース」を出展し、本学学生トレーナー(MFA:メディカル・フィットネス協会の有資格者)が急性外傷(捻挫・打撲等)の処置、慢性的な症状に対するストレッチやテーピング等を行いました。また、スポーツドリンクのサービスも実施し、脱水症状の予防にも貢献しました。(5日間で延べ100名以上をサポート)
3月27日	ファミリーフェスタ in 南港ポートタウン	共催:住之江区役所、咲洲まちづくりプロジェクトチーム 「体力測定」のブースを出展し、理学療法学科の学生が握力、背筋力、血圧等の測定を行いました。

森ノ宮医療大学 地域子育て支援事業「もりもりひろば」				参加数	家族数
4月4日	第37回	手づくりおもちゃに挑戦!?	12	6	
5月9日	第38回	ベビーマッサージ	21	10	
6月13日	第39回	熱中症の予防	24	11	
7月4日	第40回	子どもを事故から守ろう	16	8	
8月22日	第41回	お母さんのラフターヨガ体験	14	7	
9月19日	第42回	ベビーマッサージ	16	8	
10月17日	第43回	小児鍼から学ぶファミリーケア	15	7	
11月28日	第44回	その手洗いだいじょうぶ?	20	9	
1月16日	第45回	赤ちゃんの運動発達	20	10	
3月12日	第46回	お母さんのヨーガ	32	15	
合 計			190	91	

「もりもりひろば」は森ノ宮医療大学看護学科教員が支援する子育て家族支援プロジェクトです。子育て家族の交流や、育児に生かせる知識の提供、絵本や親子遊び・集団遊びを通じて地域や親子の絆を深めることを目的に、「育児」や「育自」の知恵、知識そして地域力をパワーアップしていただくための参加型教室です。

森ノ宮医療大学 地域推進支援事業「介護予防教室」				参加数
6月13日	第1回	介護予防「認知症予防」について	17	
7月4日	第2回	脳活性化ゲーム「あかるく あたまを使って あきらめない」①	18	
8月22日	第3回	脳活性化ゲーム「あかるく あたまを使って あきらめない」②	16	
9月19日	第4回	「介護福祉機器を使ってみよう」「介護食ってどんな味？」	19	
10月17日	第5回	笑う門には健康来る!! 笑いヨガで脳活性化 ①	17	
11月28日	第6回	笑う門には健康来る!! 笑いヨガで脳活性化 ②	11	
1月16日	第7回	食生活を見直してみませんか? 認知症予防の食事について	7	
3月12日	第8回	見直しませんか、歯の健康	7	
合 計			112	

「もりもりひろば」の高齢者バージョンとして生まれた認知症予防を目的とした教室です。内容は「講習」「体験:脳活性化ゲーム・笑いヨガ・ダンス」「実習:介護福祉機器の使い方・介護食」等実施しています。

地 域 と つ な が る
森 ノ 宮 医 療 大 学

平成27年度の社会連携事業

森ノ宮医療大学

森ノ宮医療大学のご紹介

森ノ宮医療大学は、平成 19 年 4 月、大阪市住之江区・咲洲(さきしま)地区に誕生しました。現在、保健医療学部看護学科と理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科、鍼灸学科の 5 学科があり、さらに 1 年課程の助産学専攻科と大学院(修士課程)を設置しています。このうち作業療法学科、臨床検査学科、助産学専攻科は平成 28 年度から新設されました。本学は、これからも医療系総合大学としての特色をいかし、健康・医療の分野を中心に、地域住民のみならずと連携しながら社会貢献に努めてまいります。



大阪府立急性期・総合医療センター & 森ノ宮医療大学

市民公開講座



基調講演する大阪府立急性期・総合医療センターの講師陣
左から、岡田倫之 臨床検査科主任部長(第1回)、岩瀬和裕 副院長(第2回)、藤原弘士 免疫リウマチ科主任部長(第3回)

森ノ宮医療大学が、連携を結んでいる大阪府立急性期・総合医療センター(大阪市住吉区)と一緒に、平成 24 年度から年 3 回ずつ開催している「市民公開講座」では、毎回身近な病気や医療の話題をテーマに、同センターから招いた医師と、本学の看護師や鍼灸師、理学療法士らが、それぞれの立場から治療や症状の緩和法などについて講演しています。平成

27 年度も「臨床検査の進歩」「胃がん」「関節リウマチ」をテーマに 3 回の講座が開催され、多くの市民の方々にご来場いただきました。



第1回「臨床検査の進歩」(6月21日)



平成 28 年 4 月から本学の保健医療学部開設された「臨床検査学科」にちなんで、「臨床検査の進歩」をテーマに開催された第 1 回の講座では、大阪府立急性期・総合医療センターから岡田倫之 臨床検査科主任部長を基調講演にお招きしました。このほか、本学客員教授で明和病院臨床検査科の脇英彦技師長(現在は本学の臨床検査学科教授)、本学理学療法学科の金尾顕郎教授、看護学科の田中晶子講師(現在は准教授)が講演しました。

第2回「胃がん」(9月13日)

第2回のテーマは「胃がん」。大阪府立急性期・総合医療センターの岩瀬和裕副院長が、「胃がん手術周術期から社会復帰へのケア—最近の話題—」と題して基調講演を行ったほか、本学看護学科の吉村弥須子教授と、理学療法学科の三木屋良輔准教授、鍼灸学科の仲西宏元教授が講演。診断の最新情報や手術についてだけでなく、食事の工夫やがん予防と運動の関係などについても紹介しました。



第3回「関節リウマチ」(11月1日)



第3回は「関節リウマチ」をテーマに開催しました。基調講演は大阪府立急性期・総合医療センター免疫リウマチ科の藤原弘士主任部長による「関節リウマチ—診断と治療—」。このほか、理学療法学科の河村廣幸教授、鍼灸学科の辻丸泰永講師、看護学科の外村昌子講師がリハビリテーションや鍼灸、看護の立場から関節リウマチについて講演を行いました。

「駅前健康講座」で花粉症

市民公開講座よりさらに身近な病気や健康に関する情報発信の場にしようと、平成28年3月23日(水)に開催された「駅前健康講座」。多くの方が悩まされている「花粉症」をテーマに、本学鍼灸学科の仲西宏元教授と看護学科の外村昌子講師が、症状緩和の方法などをわかりやすく紹介しました。



うめだカレッジ

大阪・梅田に拠点を持つ大学でつくる「大阪サテライトオフィス会“OSAKA”」などが主催する市民向け連続講座「うめだカレッジ」に、本学から鍼灸学科の増山祥子講師が2年連続で参画しました。今回は「女性のためのツボ講座～症状緩和から健康増進・美容まで～Part2」と題し、3月26日(土)に開催されました。

講座には幅広い年齢層の女性66人が参加し、自分の手足にある「三陰交・足三里・合谷」のツボの位置を確認してシールを貼るワークショップでは、周囲の人と相談しながらツボを探し、楽しそうにツボの知識を学んでいました。



も
り
も



子育てを通じた出会いの場に

大学近隣にお住まいの0歳～1歳半程度の赤ちゃんのご家族の交流や、育児に関する有益な情報交換と健康教育などを目的に、森ノ宮医療大学の看護学科が中心となって開催している「もりもりひろば」。平成27年度も概ね月1回のペースで開かれ、多くのご家族にご参加いただきました。

大学の近くには、複数の大きなマンションが並んでいますが、同じ棟に住んでいても普段なかなか顔を合わせる機会がなく、「もりもりひろば」で初めて知り合ったという方も。子育てを通じた出会いの場としてこれからも「もりもりひろば」が少しでも地域のお役に立てば幸いです。



り
ひ

高齢者のための「介護予防教室」がスタート

「もりもりひろば」が開催される同じ土曜日の午後1時～3時に、「もりもりひろば」の高齢者版ともいえる「介護予防教室」が森ノ宮医療大学で開催されています。平成27年6月にスタートし、看護学科の教員らが中心となって、認知症予防を目的とした「スリーA」や「笑いヨガ」など、楽しく活動しています。



★平成27年度 もりもりひろば 各回のテーマ★

開催日	テーマ
H27年4月4日(土)	手づくりおもちゃに挑戦!?
5月9日(土)	ベビーマッサージ
6月13日(土)	熱中症の予防
7月4日(土)	子どもを事故から守ろう
8月22日(土)	お母さんのラフターヨガ体験
9月19日(土)	ベビーマッサージ
10月17日(土)	小児鍼から学ぶファミリーケア
11月28日(土)	その手洗いだいじょうぶ?
H28年1月16日(土)	赤ちゃんの運動発達
3月12日(土)	お母さんのヨーガ

ば

森ノ宮 カップ



森ノ宮医療大学が主催し、「セレッソ大阪スポーツクラブ」の協力を得て平成26年度に始まった子どもたちのサッカー大会「森ノ宮カップ」は2年目を迎えました。サッカーを通じて子どもたちの健全な成長を応援し、スポーツにおけるコンディショニングの大切さを伝えることなどを目的に、平成27年度もU-10(11月)、U-12(平成28年2月)、U-14(7月)の各大会が大阪市此花区の「舞洲(まいしま)運動広場」で開催されました。

森ノ宮医療大学の鍼灸学科の教員や学生が中心となり、大会の運営だけでなく、子どもたちや保護者、サッカー指導者の方々へのコンディショニング講座の開催などさまざまな役割を担っています。大人顔負けの真剣な表情で、白熱したプレーを見せてくれる子どもたちの姿に元気をもらいながら、これからも参加者の方々の心に残る大会づくりを目指していききたいと思います。



Spring Fes 高校サッカー交流戦U-17

平成28年3月21日(月・祝)～25日(金)の5日間、奈良県の大和高原ボスコヴィラにおいて「Spring Fes 高校サッカー交流戦U-17」が開催されました。この交流戦には県内外(関西、九州、東海、中部地方)から高校生を中心とする15～20のチームが集まりました。

森ノ宮医療大学は、スポーツ業界の発展と健全な選手の育成、技術向上のサポートを目的とした活動の一環で、本交流戦にトレーナーブースを出展しました。

主な活動としては本学の学生トレーナー(MFA:メディカル・フィットネス協会の有資格者)による急性外傷(捻挫・打撲等)の処置や、慢性的な症状に対するストレッチやテーピングなどのサポートを行い、脱水症状予防のためスポーツドリンクのサービスも実施しました。5日間の活動で延べ100名をこえる選手をサポートし、選手や監督から感謝の言葉をたくさんいただきました。



地域とつながる

咲洲こどもフェスタ

咲洲地区の企業や大学などが協力し、子どものための多彩な体験イベントを行う「咲洲こどもフェスタ」が、10月31日(土)、11月1日(日)、3日(火・祝)にATCなどで開催され、本学も咲洲地区の一員として教員や学生がさまざまなイベントに参画しました。

AEDを使った心肺蘇生を体験してもらうコーナーの開設や、協賛したジュニアフットサル大会でのテーピング



指導、鍼灸体験の開催のほか、高さ256メートルある大阪府咲洲庁舎の階段を使った垂直マラソンの運営にも協力しました。

ATC Student's Art Collection

「ATC Student's Art Collection」と題した冬のイベントで、地元の大学や、専門学校の学生らがペットボトルなどを利用して制作したイルミネーション用のアート作品が、ATC内の「ウミエール広場」で12月から2月にかけて展示されました。

本学からは、理学療法学科の1年生たちが時間をかけて作った力作が出展され、南港の冬の夜景に華やかな彩りを添えました。



ファミリーフェスタin南港ポートタウン

住之江区の南港ポートタウンで、音楽ライブやフードブースなどを家族で楽しむイベント「ファミリーフェスタ(ファミフェス)in南港ポートタウン」が、平成28年3月27日(日)に開催されました。

南港ポートタウンからほど近い場所にある本学も「体力測定」ブースを出展してイベントに参画。理学療法学科の学

生がボランティアとして握力測定や背筋力測定・血圧検査などを行いました。子どもからお年寄りまで総勢83名の方々に参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

会場では、ほかにも相愛大学による音楽ライブや、ラグビーの現役選手によるラグビー教室、恐竜ショーなどが行われ、にぎやかな一日となりました。



テレビ大阪・春の南港ファミリーマラソン テレビ大阪・秋の大阪城ファミリーマラソン

春と秋に開催されたテレビ大阪のファミリーマラソンでは、森ノ宮医療大学の教員や学生が、裏方としてランナーをサポートしました。

5月24日(日)に大阪南港で開催された「テレビ大阪・春の南港ファミリーマラソン」では、理学療法学科の教員や学生らが会場の一角でランナーに対するストレッチや競技後のアフターケアを担当しました。

一方、9月23日(水・祝)に大阪城公園で開催された「テレビ大阪・秋の大阪城ファミリーマラソン」では、



看護学科の教員と学生が救護班として大会運営に協力したほか、理学療法学科の教員と学生が森ノ宮医療学園専門学校と協力し、ランナーのストレッチやアフターケアを行うためのブースを開設しました。



住之江区民マラソン

住之江区で恒例となっている区民マラソン大会が平成28年2月11日(木・祝)、南港中央公園からポートタウンにかけてのコースで開催されました。本学は、大阪府鍼灸師会から鍼灸師3名の協力を得て、鍼灸学科の学生や教員がはりきゅう体験ブースを運営しました。当日は晴天に恵まれ、多くのランナーがブースを訪れていました。



OSAKA ハッピーランフェスタ

女性ランナーのためのランニングイベント「第2回 OSAKA Happy Run Festa」が、大阪市此花区の舞洲スポーツアイランドで、9月26日(土)に開催されました。森ノ宮医療大学は、森ノ宮医療学園専門学校の卒業生らと協力し「美容・美脚鍼灸、美脚カッサ」を無料で提供するコーナーを開設。理学療法学科の学生と教員は、ウォーミングアップとクールダウンを行えるコーナーを設置しました。いずれのコーナーも、美容や健康に関心の高い女性ランナーたちでにぎわっていました。



東ティモールから視察団が来校

外務省の事業「JENESYS2015」の一環で、東南アジアの島国東ティモールの訪問団が10月8日(木)に森ノ宮医療大学を訪れ、学生や教員たちとの交流を楽しみました。

メンバーは東ティモールで看護や助産、薬学などを専攻する大学生を中心とした約20名。4時間たらずの短い時間でしたが、リハビリテーションに関するミニ講義や施術所の見学、看護学科実習室の見学のほか、本学の学生たちと一緒に昼食をとる「ランチ交流会」に参加し、にぎやかなひとときを過ごしました。



平成27年度の連携協定

教職課程を有する森ノ宮医療大学は、平成27年7月に守口市教育委員会と連携協定を締結し、同市教委との間で教員養成の充実に向けて協力を進めていくことになりました。また、平成28年1月には社会福祉法人帝塚山福祉会と相互連携協定を結び、今後は保健医療・医学分野で連携を深めていく予定です。



帝塚山福祉会との記念撮影



守口市教委との記念撮影

平成28年度 市民公開講座のご案内 (大阪府立急性期・総合医療センターとの連携事業)

回	開催日	テーマ	時間	
第1回	6月19日(日)	乳がん	13:30~15:30	終了
第2回	9月11日(日)	骨粗しょう症	13:30~15:30	
第3回	10月30日(日)	高齢者と眼疾患	13:30~15:30	

開催場所はいずれも森ノ宮医療大学 開場は各回とも13:00 入場無料 申込不要

想いのすべてを、医療の力に。



森ノ宮医療大学

- 保健医療学部 看護学科・理学療法学科・作業療法学科
臨床検査学科・鍼灸学科
- 専攻科 助産学専攻科(1年課程)
- 大学院 保健医療学研究科保健医療学専攻 修士課程

〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16 電話 06-6616-6911 ファクス 06-6616-6912

平成28年7月15日 発行

4. 産学官連携

医療施設と密接な協力、連携、人材交流を行うことを目的に、相互連携協定を締結し、学生の実習の場、地域医療の活性化の領域を広げています。

また、近隣及び関係する行政機関とも協定を締結し、学生の教育現場の体験、教職員相互の交流を目指します。

	連携締結年	連携協定締結先	取組の概要等
1	平成22年 4月 6日	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立急性期・総合医療センター	【医療スタッフによるリレー形式の講義を実施】 大阪府立急性期・総合医療センターの医師、看護師を招聘し、現場経験を活かした最新の医療についてリレー形式の講義を行っています。
2	平成23年 7月 11日	医療法人協和会 千里中央病院	【鍼灸学科の学外見学実習を実施】 医療法人協和会千里中央病院にて臨床現場を見学し、入院患者さんの訴えや気持ちなどを直接感じるとともに、さまざまな医療スタッフがチームとして働く姿を見ることで入院患者さんを取り巻く医療の実像を学ぶことができます。
3	平成23年 12月 9日	医療法人 錦秀会	【森ノ宮医療大学臨学協同参画センターの設置】 医療法人錦秀会内の施設に同センターを設置し、学生をよく知る本学の教員が加わり、学生の状況にあわせて指導をしています。
	連携締結年	連携協定締結先	目指す取組の概要等
4	平成25年 5月 27日	公益社団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院	共同研究の実施、医療従事者の大学への派遣、本学学生の実習の受入、本学学生の就職の受入等を目指します。
5	平成26年 1月 9日	住之江区	住之江区の健康づくり事業への教員および学生ボランティアの派遣、本学学生の教育現場体験の受け入れ、市民公開講座の共催 等を目指します。
6	平成26年 1月 15日	医療法人 協和会	共同研究の実施、医療従事者の大学への派遣、本学学生の実習の受入、本学学生の就職の受入等を目指します。
7	平成26年 2月 19日	中国 浙江省人民医院	学術交流に関する協定 共同研究の実施、研究者および学生の交流 等を目指します。
8	平成26年 6月 3日	大阪府 高槻市教育委員会	大学と高槻市立学校の教職員相互の交流、本学学生の教育現場体験等を目指します。
9	平成26年 11月 19日	医療法人社団有隣会東大阪病院	相互の密接な協力・連携・人材交流により、医学教育・高度な医療を共有し、保健医療・健康増進・福祉等に関わる地域の課題に取り組み寄与することを目的とします。
10	平成26年 11月 25日	吹田市教育委員会	大学と吹田市立学校の教職員相互の交流、本学学生の教育現場体験等を目指します。
11	平成27年 2月 19日	学校法人相愛学園 相愛大学	教育研究活動及び大学行事、学生の自治活動及びサークル活動、地域の医療・福祉・健康に関わる貢献等について、連携・協力することを目指します。
12	平成27年 3月 9日	社会医療法人景岳会南大阪病院	相互の密接な協力・連携・人材交流により、高度な医療・医学教育を共有し、保健医療・健康増進・福祉等にかかわる地域の課題に取り組み貢献することを目的とします。
13	平成27年 4月 15日	大阪市教育委員会	学校支援学生ボランティア事業の為の協定です。

	連携締結年	連携協定締結先	目指す取組の概要等
14	平成27年 7月27日	守口市教育委員会	大学と守口市立学校の教職員相互の交流、本学学生の教育現場体験等を目指します。
15	平成28年 1月29日	社会福祉法人帝塚山福祉会	相互の密接な協力・連携・人材交流により、医学教育・高度な医療を共有し、保健医療・健康増進・福祉等に関わる地域の課題に取り組み寄与することを目的とします。